

令和4年度 百合丘高等学校学校 年間指導計画

教科・科目	演奏研究	学年	第3学年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	自主作成教材

学習目標	演奏実践を通して主にキーボードの奏法に関する基礎的な技能を身に付け、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う。		
学習方法	○表現活動では個人またはグループでキーボード等の実習をする。 ○鑑賞活動では楽曲の背景や解釈の多様性に触れ、音楽のよさや美しさを味わう力と感じ取ったことを表現する力を高める。		
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心を持ち、表現上の特徴を踏まえた音楽表現と鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
	b	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚・感受しながら、器楽の活動を通して音楽表現を工夫し、表現意図を持っている。
	c	音楽表現の技能	創意工夫を生かした演奏をするために必要な技能を身に付け、創造的に表している。
	d	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚・感受しながら、価値判断し、楽曲や演奏の特徴を踏まえて、よさや美しさを創造的に味わっている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法		
					a	b	c	d				
前期	A表現	18	キーボード実習①	バイエル	○	○	○		a:キーボードの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、キーボードの音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:キーボードの音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	・活動観察 ・実技テスト		
				自由曲	○	○	○					
		8	ソルフェージュ	視唱	○	○	○		a:ソルフェージュに関心をもち、演奏に必要な基礎力を身に付ける学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚・感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:音楽表現をするために必要なソルフェージュの技能を身に付け、創造的に表している。	・活動観察 ・実技テスト		
	B鑑賞	2	多様な音楽(演奏)を味わおう①	演奏比較	○		○		a:声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取って、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	・活動観察 ・ワークシート		
後期	A表現	10	ソルフェージュ	視唱	○	○	○		a:ソルフェージュに関心をもち、演奏に必要な基礎力を身に付ける学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚・感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:音楽表現をするために必要なソルフェージュの技能を身に付け、創造的に表している。	・活動観察 ・実技テスト		
				20	キーボード実習②	バイエル	○	○	○		a:キーボードの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、キーボードの音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:キーボードの音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	・活動観察 ・実技テスト
						伴奏付け等	○	○	○			
		4	器楽実習	器楽(キーボード以外)	○	○	○		a:楽器の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	・活動観察 ・実技テスト(発表)		
	B鑑賞	2	多様な音楽(演奏)を味わおう②	演奏比較	○		○		a:声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取って、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	・活動観察 ・ワークシート		
合計時数(55分授業)		64										